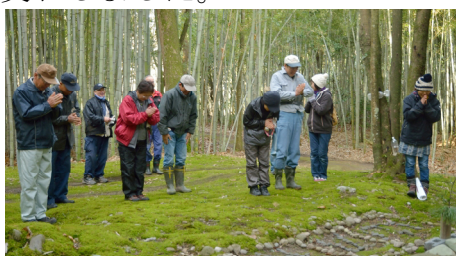


☆第2土曜日の作業

朝の気温が氷点下4.2度まで下がったこの日は、珍しくK氏が欠席、しかし作業にはもってこいの好天に恵まれ、二十数人が集まって互いに新年のあいさつを交わしました。

今日の観測会は、2部構成、まずは①お参りに行こう！ということで、森の中にある野神さんにお参りに行きました。



野神さんにお参りです

愛知川沿いの竹林の

中にあるので、野神さんの周りだけ木がたくさん生えています。はじめて野神さんに来たとおっしゃる方も多く、「森の中にこんなところあったんや」とびっくりされていました。今年一年の作業の無事と、みなさんの健康をお祈りしました。この野神さんは森の地図には「野神さん」と表示されていますが、森の中にある案内標識には「山神さん」と書かれています。野（田んぼ）の神様と、山（森・里山）の神様の両方の役割をしてくれているからです。5/5～8/7の間は、五穀豊穡を祈願し各田んぼにお出向きになり、森に戻ってこられる8/7にお供え物をして昔は祝いの相撲をとっていました。それ以外の時期は、森の守り神としてまつられています。焼き鳥名人は子どものころ、おいなりさんを供えに、この野神さんにもお参りに来られたことがあるそうですよ。お参りからもどった後は、②みんなでお正月遊びをしました。♪お正月には凧あげて、コマをまわして遊びましょう～という歌がありますが、今の時代そんな遊びをしてお正月を過ごした方は少ないのではないのでしょうか。コマ・お手玉・竹で作った羽子板・けん玉・百人一首、そして彦根で有名なかみをしてもらいました。はじめは、みなさん何をしようかなと、少しとまどっておられましたが、子どもの頃に得意だったコマを握れば、手の上でまわしてみたり、「子どもの頃はな…」と昔のお話をたくさんしてくださりました。にこやかな雰囲気遊び時間はあっという間にすぎ、いいウォーミングアップになりました。

この日の作業は、①竹林の間伐、②竹割り、③落ち葉かき、④食事づくりでした。

①竹の間伐はもうそろそろシーズンが終わる頃ですが、新しい横置き竹棚も作ったので、どんと来い！な感じで、ここぞとばかりに沢山切り出しました。これで来年度の竹工作も安泰です。②昨年布施から頂いたモリウチクを芋焼きの燃料に、今年頂いたものは竹炭にするために、炭焼き名人お手製の板バネを使って割りました。モリウチクはこの森にある竹よりも分厚く堅いため、割るのも一苦労でしたが、昼から続きもしたので全部割ることができました。③交流広場の奥で行いました。この場所は小さな木やツル植物が多いため、熊手でかくとひっかかって、ひっかかって、大変でした。落ち葉かきをしていると、その近くに刈ビタがやってきて、落ち葉をかいたあとの地面に降りて、赤色（ヤブコウジ）や青色（ジャノヒゲ）の実をつついていました。鳥に「ありがとう」と言われている気分だね～と話していました。④おいしい食事とは別に、午前中の休憩時には1月恒例の正月の鏡餅入りぜんざいが出て、辛党・甘党問わずに一息つきました。



弓矢に挑戦だ！

お昼には3日間かけてふっくら柔らかく仕上げていただいた黒豆をはじめ、柿なます、たたきゴボリ、五目豆、カブのみぞれ煮、そして白菜と豚肉のあったか鍋など、お正月メニューも入って盛りだくさん。毎回、食事班は「今日はお米を何合炊くのか？」と悩むことになるのですが、今回は休憩時に餅入りぜんざいを食べることもあって、26人の参加者で1升5合（一人0.6合）と踏みしました。いつもならその予想通り、おにぎり数個分作れるくらいの適量が余ります。ところが今回、白米はすっからかん！少しも余らず、足らないくらいでした。「おかしいなあ、みんなお餅食べているのになあ」よく見ると、テーブルの上のビールもほとんど空いていません。すると食事班からは、「わかった！今日はKさんがいないからや。みんなお酒飲まないからご飯がすすんでるんや。」「今度からKさん休みの日にはご飯を多めに炊かなあかんあ」との声があり、思わずなるほどとうなずいてしまいました。

2月の作業日は

2月9日（第2土曜日）、27日（第4水曜日） 9時～（遅刻可）

遊林会の作業会議「森の居酒屋」は2月6日 午後7時頃～

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先（遊林会事務局）：滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL : <http://www.yurinkai.org/>

E-mail : ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえブログ」で検索！

☆第4水曜日の作業

第4水曜日は好天に恵まれ18人が参加。うち2人は、この森を情報誌に掲載したいと取材に来られた滋賀県中部森林整備事務所の職員さんで、取材申し込みの際に「せっかくですから一緒に作業していけば雰囲気も分かりますよ」と申し上げると「分かりました！」とのことで、本格的な作業服姿（道具持参！）で参加して頂きました。この日の作業は枯れてしまっていた木を2本伐採することから開始。樹種はヤマザクラとコナラで、いずれもずいぶん前から枯れていたのですが、この森では木が枯れたからと言ってむやみに伐るのではなく、枯れ木に卵を産んだり巣を作ったりする生き物たちのためにも、当面の危険がなければ枯れたまま放置しておくことにしています。そうはいつても年月が経つと今にも倒れそうなほど腐っていくので、今回はこうした木を2本伐採することにしました。枯れてずいぶん経つので枝などはほとんど落ちてしまっていて、水曜日のメンバーにかかればあっという間に伐採、玉切りが終了してしまいました。次の作業はサの機械刈り。伐採とうってかわって地味な作業ですが、森を育てるためには欠かせない大事な作業です。今回はドンダリ広場で萌芽更新を行った場所で、「サは切るがそれ以外の幼樹は残す」というストスの溜まる切り方です。また草刈り機を持たない作業班は、野鳥観察壁前の萌芽更新エリアで、丁寧にサ刈りをしました。お昼はカレー鍋にカブのたいたん、大根サラダ、サラダ炒め、キャベツポロリ、締めはカレー鍋の汁を使ったリゾットです。盛りだくさんの料理を前に、取材がてら作業にこられたお二人は「いつもこんなご馳走なんですか!？」とびっくりされました。作業は午後からもサ刈を継続、ストスの溜まる作業ながらもきれいに刈って頂きました。

☆1月の木ままクラブ

2013年の木ままクラブは計17回の活動予定です
1/17 13人 城さんの家で伐採された太いササにヒタケの菌を打ちました。また布施から持ってきてもらったモリウチクを割って竹炭用とし、さらに林内で折れてぶら下がっていた枝を2本処理しました

1/31 8人 ドンダリ広場でドンダリの木を約70本間引き、これらをすべて柴にしました。また、林内のウメの剪定、落ち葉かき用竹柵の一部解体を行いました。

2月は14日、21日が活動日です

☆河辺いきものの森スタッフルーム情報

1月は学校の来訪もほとんどなく（1校だけでした）、のんびりと…ということではなく、新年早々のモリイコ！、モリイコ！Sや大阪イベント

で、正月ボケになる暇もなくバタバタしていました。モリイコ！も2月、3月で最終回を迎えますし、また屋内・屋外展示のリニューアルなど1月はイベント準備が仕事のメインになりました。

☆モリイコ！の子どもたち

今年度のモリイコ！事業もそろそろ大詰め、子ども達のプログラムも、協力が必要になったり、することが多くなったりするなど変化があります。1年目のモリイコ！は班で協力して、なおかつ森らしいこと、ということで、冬の森の大運動会と足湯プロジェクトです。大運動会にはスタッフは見ているだけ、小さい子どもを交えながら子ども達みんなでどうしたらよいか相談している姿がとても印象的でした。昨年に引き続き人気の足湯はお湯を沸かすのに、たくさんの石を熱する必要があるので、協力して、たき火をあおぐのが大変。その分、足湯に浸かれた時の感動はひとしおです。

モリイコ！Sは弓矢とパチンコを作って遊びました。危険な物を作ることにスタッフ間で協議したのですが、2年目の子どもやし、持って帰らないことを条件にやってみることに。自分たちで材料を森に取りに行き、一から作って、的も作って、という昔遊びに近いものにしました。最初はそんな無理やわ！と言っていた子ども達も、午後から森を回る時には笑顔満開で回っていました。

☆「染色講座・竹の葉で染色」終了

この冬、損保ジャパンさんや、しがNPOセンターさんなどの協賛で大人向けイベントを3回実施します。その1回目、染色講座を、1/30に行いました。竹の葉が必要なので、まずはノギリを持って竹林に竹を伐りに行くところからスタート。染色講座は各地で行われていますが、生えている竹を伐る染色講座は、他ではあまりないのではないのでしょうか。竹の葉は濃く染まる素材というわけではないのですが、『森らしい染色』という意味で選びました。そのため煮出した染液に布を入れたただけだと色がつかず、本当に大丈夫…？という不安が参加者さんによぎったのですが、媒染剤というものにつけ、もう一度染液に戻すと、淡い黄色に染まり、参加者さんも笑顔になりました。お昼からの森の散策は時間が足りず、あまり案内できなかったのが残念ですが、出来上がった作品を見て満足げな参加者のみなさんの顔が見られたので良かったです。

☆2月の作業は…

したりない落ち葉かきをするか、竹を伐るか…お昼は暖まるものがよいですね。

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！